

## (4) 交流促進のための新たな取組

# 環瀬戸内海地域の交流促進のための新たな取組(案)

## これまでの取組内容と課題

### <これまでの取組内容>

- 環瀬戸内海地域の魅力の向上
  - ◆ 環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
  - ◆ 瀬戸内海の「海」の魅力の発信
  - ◆ 環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
  - ◆ 環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

### <交流人口の状況と課題>

- 協議会設立（H26.3）以降、交流人口は順調に増加。
- 協議会の目標値（2020年度までに交流人口1000万人増）に対し、平成28年度では196万人実績が少なく開きが見えてきており、**増加するインバウンド観光客も見据えて新たな交流促進策が必要。**

## 今回（平成30年度第1回）

瀬戸大橋開通30周年、神戸淡路鳴門自動車道全通20周年の節目でもあり、さらなる交流人口増加を目指し取組内容を刷新。

### <交流促進に向けた新たな取組>

- 新たな取組の柱として『**移動しやすい環境の整備**』『**「道の駅」の観光拠点化**』『**情報発信**』の3項目を追加。
- これまでの取組である『**環瀬戸内海地域の魅力の向上**』における取組内容の追加。

**交流人口増加を加速**

# 環瀬戸内海地域の交流促進のための新たな取組(案)

## 環瀬戸内海地域の魅力の向上

- ◆環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興  
(愛媛県・広島県)
  - ・サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪  
【四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR】
- ◆瀬戸内海の「海」の魅力の発信  
(香川県・岡山県)
  - ・本四架橋を中心としたインフラツーリズム  
【インフラマップの作成】《前回協議会で提示済》  
【民間が主体となったインフラツーリズムの取り組み】
- ◆環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化  
(高知県・本四高速)
  - ・歴史的遺産のネットワーク構築とPR
  - ・文化芸術ネットワークの推進
- ◆環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承  
(徳島県・兵庫県)
  - ・食文化のPR  
【環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR】

各県大型観光イベントとの連携

## 移動しやすい環境の整備

- ・高速道路ナンバリング等  
【年次計画の策定】《各県が主体的に推進》  
【印刷物への記載促進】《各県が主体的に推進》
- ・観光地名称を表示した標識  
【直轄国道以外に拡大】《各県が主体的に推進》
- ・案内の多言語化  
【英語表記の適正化】《各県が主体的に推進》
- ・観光地における渋滞緩和  
【観光地における渋滞対策の検討・対策実施】《各県が主体的に推進》
- ・利用者目線に沿ったモデル周遊ルートの設定  
【観光地までのルート、所要時間を案内】《各県が主体的に推進》

## 「道の駅」の観光拠点化

- ・「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組  
【観光客の実態調査】《地整が事例収集・提供、各県が主体的に推進》  
【トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化】《各県が主体的に推進》  
【道の駅での相互連携】《地整・各県が主体的に推進》
- ・「道の駅」施設管理における見える化  
【情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組を実施】《地整がとりまとめ、快適性向上の取組を各県が主体的に推進》

## 情報発信

- 【自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報】《高知県》
  - 【情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ】《本四高速・四国地整》
  - 【四国八十八景のプロモーション】《四国運輸局》
  - 【本四高速の新たな料金の広報】《本四》
- ※その他SNSやHPを活用した情報発信

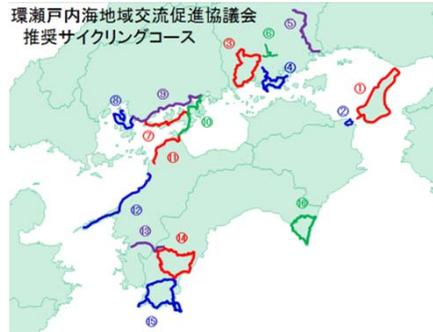
本四高速道路周年記念事業

# 四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR【環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興】【愛媛県・広島県】

## 取組の概要

- ◆環瀬戸内海地域交流促進協議会では、各県が推奨するサイクリングコースを、ブルーライン等の統一された規格で整備を推進する取り組みを行っている。
- ◆しかしながら、現在の推奨サイクリングコースは地域個別のコースであり一体的なPRが課題。また、休憩施設等の受け入れ環境の整備も必要である。
- ◆今後は、サイクルツーリズムの推進に向けて、国と地域が連携して進めるサイクリングコースとして、「四国一周ルート」と「地域ルート」を設定し、ルートサインや休憩施設等を整備するとともに、一体的なPRを行う。

### これまで：個別にコースの整備



**【コース設定】**  
協議会が定めた推奨サイクリングコースの選定基準により“各県独自”にコースを設定。

**【PR】**  
協議会及び環瀬戸内海地域がそれぞれコースをPR

### 今後：四国一周ルートと地域ルートの設定・整備

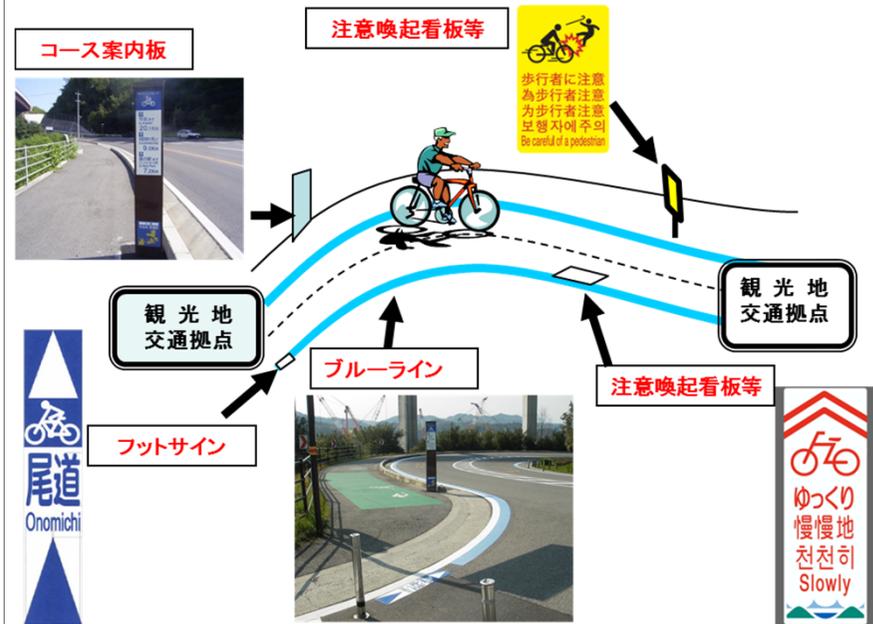


**【コース設定】**  
四国全体をルートとする「四国一周ルート」と協議会が定めた推奨サイクリングコースを活用し「地域コース」を設定。

**【PR】**  
国と地域が連携してコースを一体的にPR

### サイクリングコースの整備

#### 協議会における整備のイメージ



サイクリングコースの整備については、協議会独自の統一された規格に配慮しつつ、一体的なコース整備を推進する。

取組の概要

- ◆これまで、香川県において瀬戸大橋と四国八十八箇所霊場、周辺の土木遺産や道の駅、日本風景街道など魅力あるインフラを周遊するモデルコース及び現地マップを作成。
- ◆今後は、魅力的なインフラツーリズムを実施する為、コンセプト・ツアールート・グルメスポットなどの民間企業ならではのノウハウを活用するため、インフラ素材の提供を行い、民間企業（旅行会社等）が主体となった企画・催行に取り組む。

これまでの取組：行政主導

行政

【抽出】  
土木遺産・道の駅・風景街道など、  
観光資源となりうる施設

連携 ● 日本風景街道 等



- 【H28 香川県で試行】
- モデルコースの設定
  - 現地マップ作成
  - 協議会HP、関係機関と連携した情報発信

【企画立案】  
インフラ 周遊ツアー



- 【課題】
- インフラに偏ったツアー
  - 多くのツアーが開催できない など

民間

【ツアー催行】 インフラ 周遊ツアー

これからの取組：民間主導

行政

【抽出】  
土木遺産・道の駅・風景街道など、観  
光資源となりうる施設

連携 ● 日本風景街道  
● 道路協力団体 等



- 見学可能施設の概要
- 見学定員
- 見学可能時期や見学時間など

民間

【企画立案】  
ツアーの企画立案

- +
- グルメスポット
  - 観光スポット
  - 旅行商品等
- 旅行会社ならではのアイデアを活用



【ツアーの催行】  
インフラ+観光+グルメ等

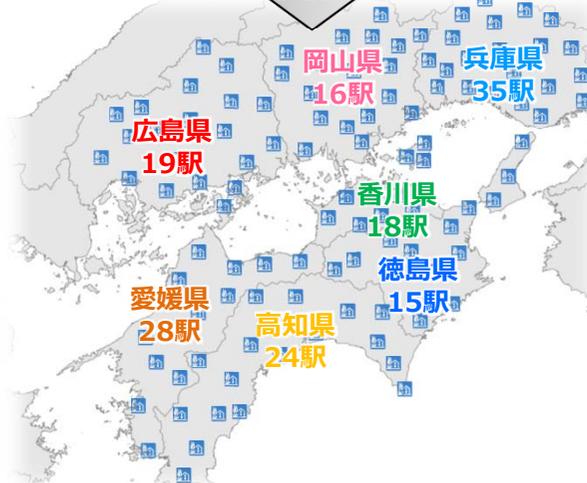
取組の概要

- ◆近年の観光に関するトレンドは体験型への旅行スタイルに変化しており、「体験型食イベント」と「地産地消協力店」を併せて紹介することで、より一層各県の『食の魅力』をPR。
- ◆環瀬戸内海地域に155箇所ある「道の駅」の情報発信力を活用した「相互PR」とともに、イベントトラック「阿波ふうど号」を活用したイベントでのパネル展と併せ、PRパンフを配布。

■「体験型イベント・地産地消協力店」PRパンフを作成しPR



将来的に取組を環瀬戸内海地域に拡大



## 取組の概要

- ◆訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を実現するため、高速道路において、路線名に併せて路線番号を用いて案内する『ナンバリング』を導入。
- ◆高速道路本線及びIC付近の国が管理する国道については、2020年までを目標に整備を実施。自治体が管理する道路を含めて、標識分科会等で年次計画を策定し、計画的に整備を推進。観光パンフにおいても『ナンバリング』の標記に変更。
- ◆高速道路案内についてはユーザビリティの向上を図るため、道路名称の統一やガソリンスタンドなどの沿道施設案内を検討する。

## ■ナンバリング路線図



## ■ナンバリング施工事例



## ■ナンバリングの基本ルール

### 親しみやすく

- ◆地域でなじみがあり、かつ、国土の根幹的な路線の既存の国道番号（2桁以内）を活用します。

### シンプルでわかりやすく

- ◆数字は原則2桁以内とします。
- ◆同一起終点など、機能が似ている路線はグループ（ファミリー）化します。
- ◆道路種別や機能をアルファベットで表現します。
  - ・路線番号の頭に高速道路（Expressway）を意味する「E」を付与
  - ・グループ（ファミリー）化する路線は、路線番号の最後に「A」を付与
  - ・環状道路は、路線番号の頭に「C」を付与

### 国土の骨格構造を表現する

- ◆主要な国道番号で、国土の骨格構造を表現できるように、路線の起終点を設定します。

取組の概要

- ◆観光先進国や地方創生の実現に向け、観光地等へのわかりやすい案内となるよう、直轄国道の交差点名標識を観光地名称を表示する標識に改善。
- ◆直轄国道以外でもニーズのある交差点を抽出し、各自治体、地元関係者、公安委員会、道路管理者、観光部局と連携を図りながら改善を推進。

■観光地名称を表示した事例(香川県高松市)

【改善前】



【改善後】



環瀬戸内海地域の交差点名標識改善箇所一覧

路線	場所	改善前の表示	改善後の表示内容
国道30号	岡山県玉野市	槌ヶ原東 Tsuchigaharahigashi	みやま公園口 Miyama Park
国道30号	岡山県玉野市	田井西 Tainishi	みやま公園東 Miyama Park East
国道185号	広島県竹原市	新港橋東詰 Shinminatohashihigashizume	たけはら町並み保存地区 Takehara Historic District
国道2号	広島県廿日市市	-	宮浜温泉東口 Miyahama Onsen East Ent.
国道2号	広島県廿日市市	-	宮浜温泉西口 Miyahama Onsen West Ent.
国道54号	広島県安芸高田市	-	吉田サッカー公園入口 Yoshida Soccer Park Ent.
国道55号	徳島県美波町	-	薬王寺前 Yakuoji Temple
国道11号	香川県高松市	高松町	屋島 Yashima
国道11号	香川県さぬき市	志度 Sido	志度寺 Shidoji Temple
国道32号	香川県三豊市	戸川 Togawa	たからだの里さいた Michi-no-Eki Takarada no sato Saita
国道196号	愛媛県松山市	本町1	城山公園口 Shiroyama Park
国道56号	愛媛県松山市	-	松山中央公園入口 Matsuyama Central Park Ent.
国道32号	高知県高知市	-	菜園場 Saenba
国道55号	高知県安芸市	-	安芸市営球場入口 Aki City Baseball Ground Ent.

資料：国土交通省HPより（H29.6現在）

■標識の設置イメージ



取組の概要

- ◆外国人旅行者にも分かりやすい道路案内標識となるよう、「ローマ字」表記から「英語」表記へ改善。
- ◆「訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備事業」における戦略拠点・地方拠点に選定された地区から優先し、道路管理者、観光部局等と連携を図りながら英語表記を改善。
- ◆拠点以外での外国人観光客の多い地域についても関係機関で連携を図りつつ、英語表記の改善を促進。

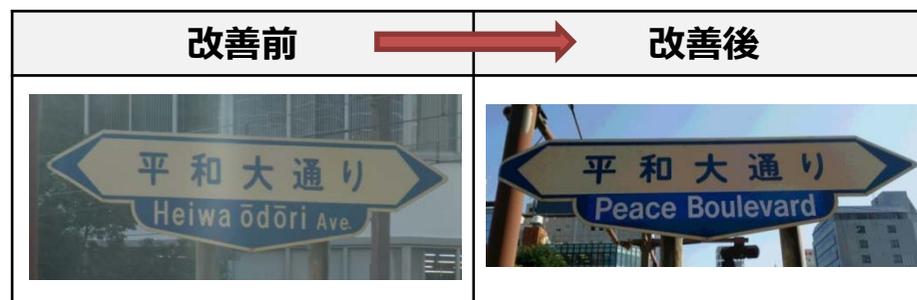
■戦略・地方拠点の改善状況

拠点名	現地施工	
	着手時期	完了時期
広島地区	平成25年10月	平成28年3月
倉敷地区	平成26年2月	平成27年3月
鳴門・南あわじ地区	平成26年2月	平成27年3月
松山地区	平成26年2月	平成27年1月
高知地区	平成26年9月	平成29年2月

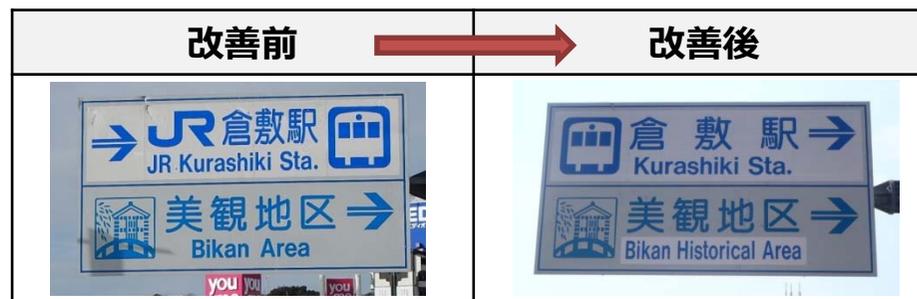
■英語表記の例

日本語	英語
〇〇駅（前・入口）	〇〇 Sta.
〇〇病院（前）	〇〇 Hospital
〇〇通り	〇〇 Ave. 〇〇St. 〇〇Blvd. のいずれか
〇〇記念館（前）	〇〇 Museum
〇〇公園	〇〇 Park
〇〇山	Mt.〇〇

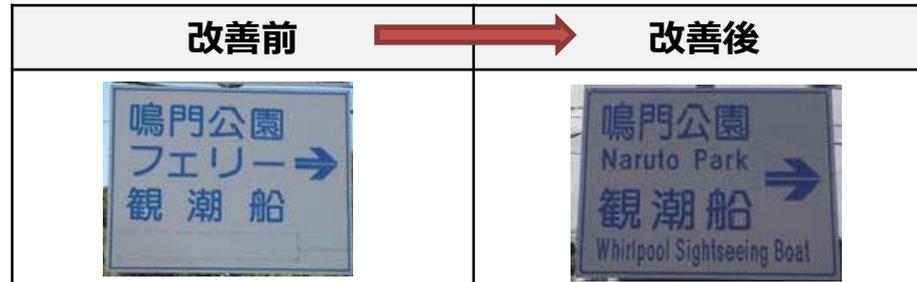
■広島地区での改善事例



■倉敷地区での改善事例



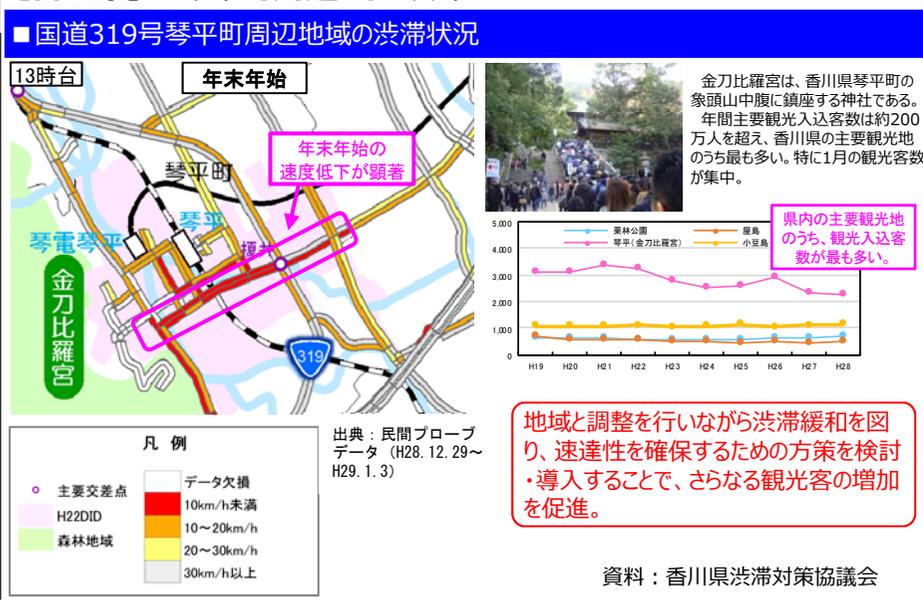
■鳴門地区での改善事例



取組の概要

- ◆大型連休のGW、夏休み、年末年始では、交流人口が大幅に増加し、大型観光地やイベント開催地周辺では駐車場の不足や交通渋滞が発生している。このため、公共交通機関利用促進やパーク&バスライドなどを導入を検討し、渋滞緩和を図ることで、速達性の確保を目指す。
- ◆観光渋滞の対策を推進し、各種交通機関の定時性を確保し、さらなる観光客増加を促進。

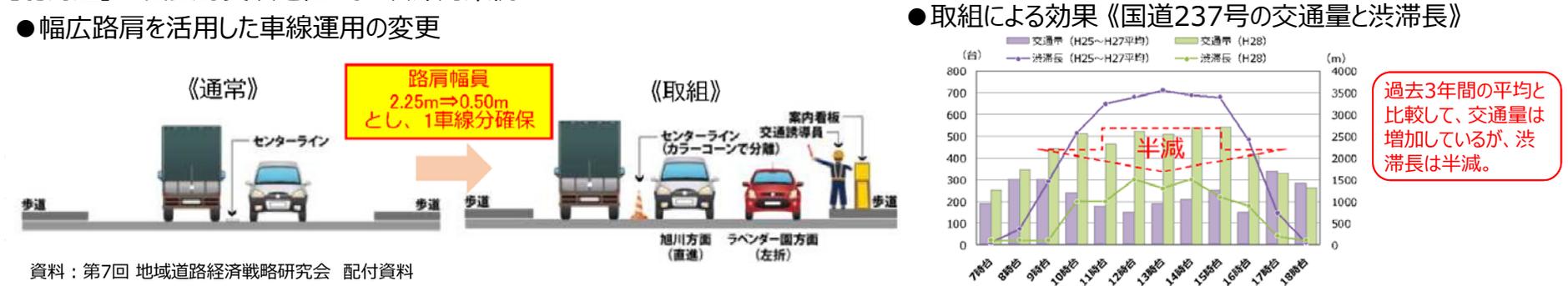
【香川県】 “琴平町周辺”での渋滞



【岡山県】 “倉敷美観地区”での渋滞対策例



【北海道】 “富良野美瑛地区”での渋滞対策例

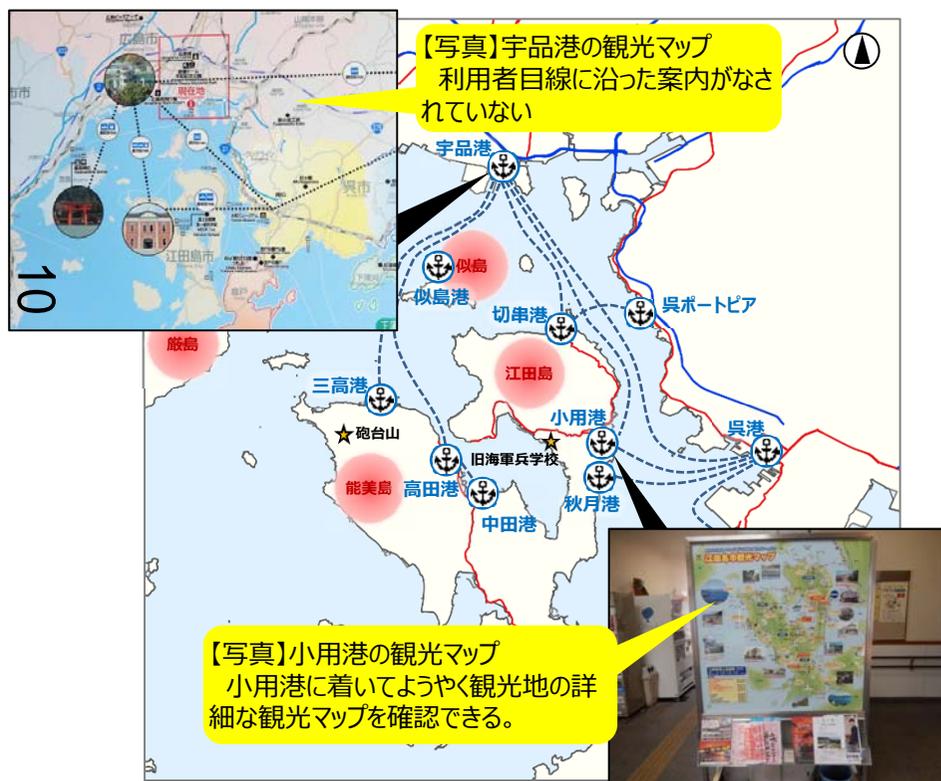


# 利用者目線に沿ったモデル周遊ルートの設定

【移動しやすい環境の整備】 【各県】

- ・広島港(宇品)から案内させる港名は、島名や観光地の名称と必ずしも一致していない。
- ・また、瀬戸内海にある島々に観光地はあるものの、移動するには複数の交通手段があり、利用者目線に沿った案内がなされていない。
- ・港によっては、現地に到着後、ようやく観光地までの案内が明確となる。

## ■ 現在のフェリー航路(一例)



## ■ 周遊ルートの提案例



- ◆案内表示で観光地までのルート、所要時間を案内する (島内の二次交通案内も含む)
- ◆複数の交通手段を含めた、周遊モデルルートを設定

環瀬戸内海地域を対象に、瀬戸内海の魅力を拡大し、更なる交流促進を図る。

取組の概要

- ◆訪日外国人旅行者が利用しやすい「道の駅」にするため、トイレの洋式化、観光名所に関する情報収集のためのフリーWi-Fi環境等の整備・クレジットカード対応・免税対応・観光案内の多言語化対応などの受け入れ整備を推進。
- ◆道の駅における訪日外国人観光客の入り込み数等の実態について、ビッグデータの活用や道の駅を訪れた観光客を対象にアンケート調査を実施し、道の駅における課題などについて把握し、対応策を検討。

■「道の駅」におけるインバウンド受け入れ整備事例

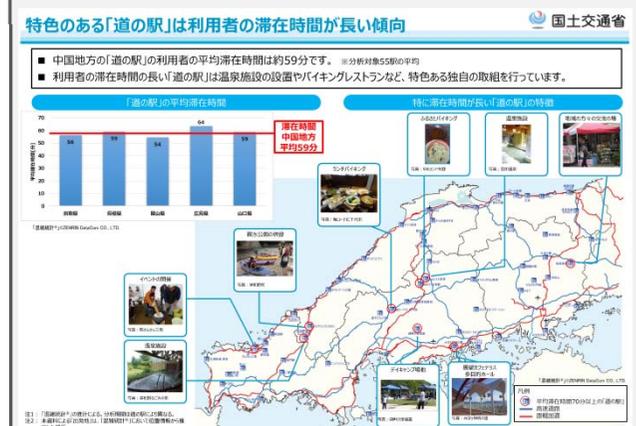


■インバウンド観光客の実態把握

- ビッグデータを活用した利用実態分析
- 訪日外国人へのアンケート調査

「道の駅」のインバウンド受け入れに対する課題の把握

【事例】ビッグデータを活用した「道の駅」利用状況に関する分析



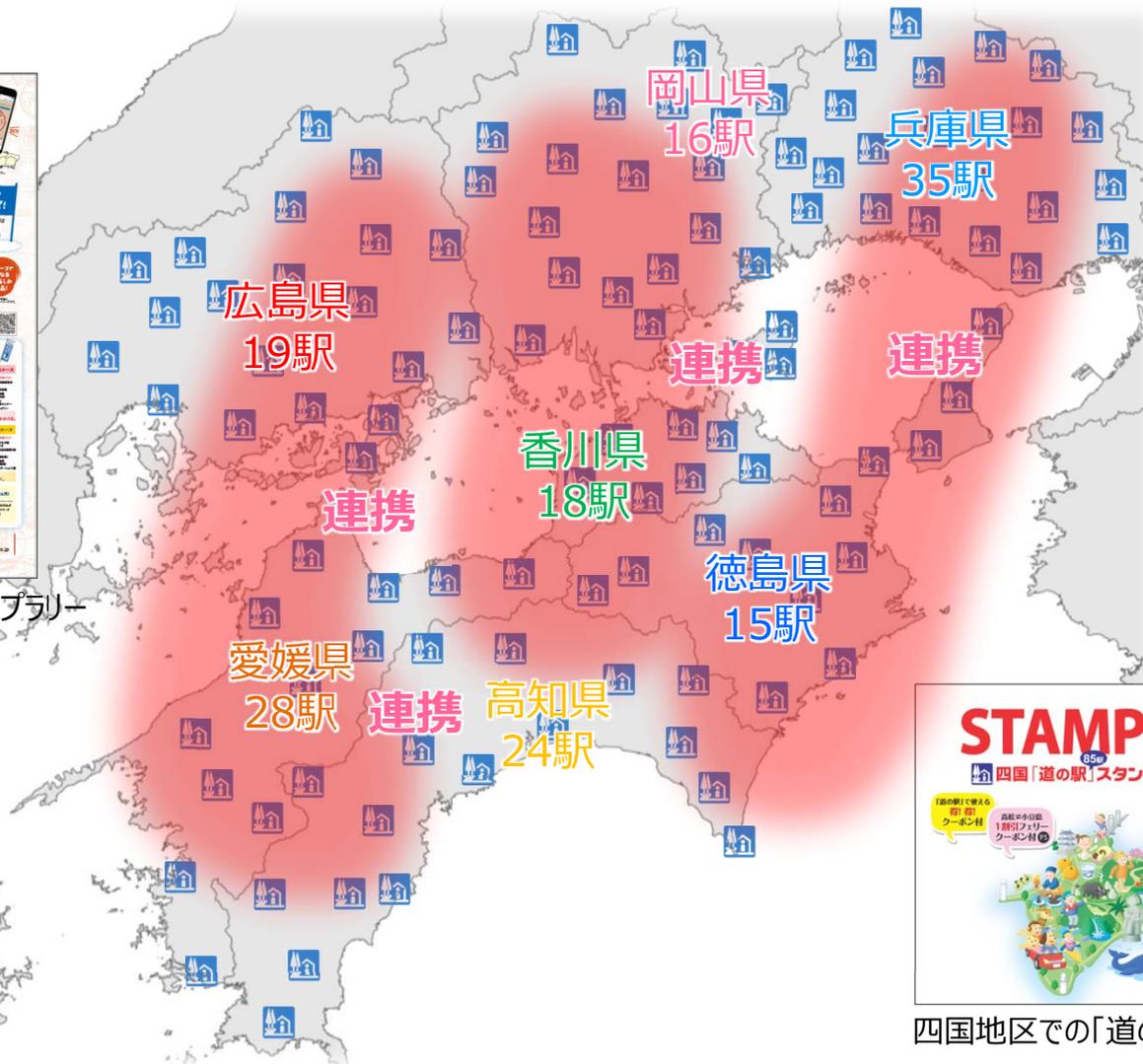
# 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組 (道の駅での相互連携) 【「道の駅」の観光拠点化】 【各県】

## 取組の概要

- ◆ 環瀬戸内海地域にある155の「道の駅」において、現在、地域内で実施されている連携した取り組みを、今後は地域の垣根を越えた環瀬戸内海地域での相互に連携（隣県または小規模な範囲）したイベント開催により、交流を促進。（例：瀬戸内海を跨いだスタンプラリーの実施など）



中国地区での「道の駅」スタンプラリー



四国地区での「道の駅」スタンプラリー

取組の概要

- ◆ 情報提供施設・トイレ棟の現状評価し、改善が必要な施設について、施設設置者と施設管理者でコミュニケーション活動により施設整備等の方向性の理解を深める。
- ◆ 道の駅施設の現状評価一覧表を作成して施設の誇れる所を明確化し、道の駅連絡会や道路管理者会議等の場で情報を共有を図り、各県と個々の道の駅と連携して、利用者の快適性向上の取り組みを実施。

■ 取組み事例



■ 現状評価の例

大項目		施設評価(〇県)				
		道の駅 〇〇 評価	道の駅 △△ 評価	道の駅 ×× 評価	道の駅 □□ 評価	道の駅 □× 評価
トイレ	施設整備について	◎	○	○	◎	○
	維持管理について	○	◎	◎	◎	◎
	一工夫について	△	◎	△	◎	△
	総合評価(5段階評価)	3/5	4/5	3/5	5/5	3/5
道路情報提供施設	施設整備について	◎	◎	◎	◎	○
	情報提供内容について (道路関係)	△	△	◎	◎	△
	情報提供内容について (観光関係)	○	○	◎	◎	◎
	総合評価(5段階評価)	4/5	4/5	5/5	5/5	3/5
その他	休憩施設の整備について	◎	◎	◎	◎	◎
	休憩施設の管理について	◎	◎	◎	◎	◎
	防災機能について	△	△	◎	◎	◎
	利用促進に取り組みについて	◎	◎	◎	◎	◎
	総合評価(5段階評価)	4/5	4/5	4/5	4/5	4/5
お客様の声(日頃から感じている利用者の声)	防災拠点として利用されている	トイレが綺麗		わかりやすい案内で施設内が綺麗		

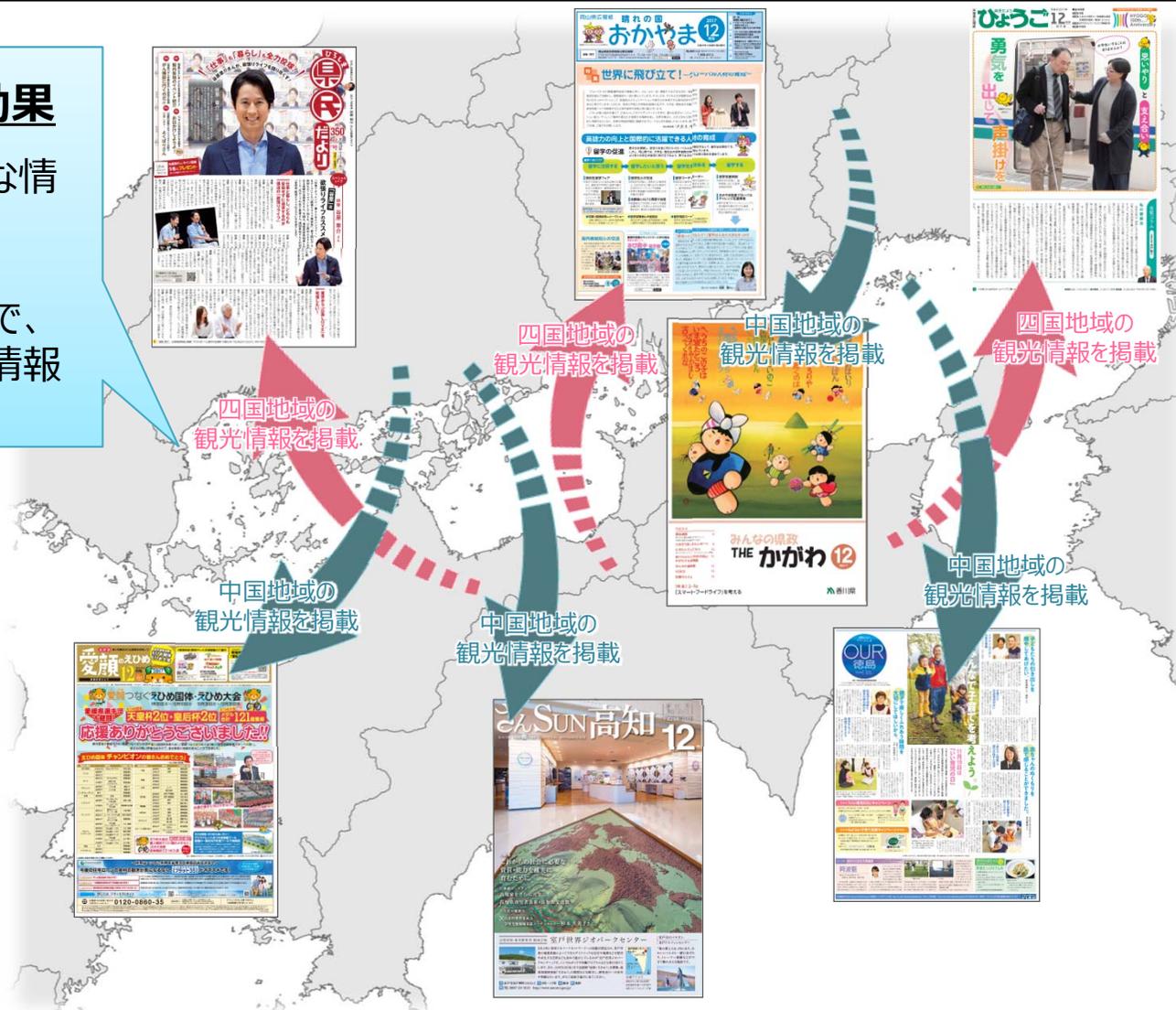


取組の概要

- ◆ 中国・四国地域の観光情報を県広報誌等に相互に掲載することで、更なる交流を促進。
- ◆ 県広報誌を活用することで、①継続的な情報発信、②広報コストの削減、③全世帯配布による偏りなく地域の隅々まで情報提供などの効果を期待。

県広報誌活用による効果

- 毎月発行による継続的な情報発信
- 広報コストの削減
- 全世帯に配布されることで、偏りなく地域の隅々まで情報提供可能



## 取組の概要

- ◆ 環瀬戸ホームページのコンテンツの充実を図ると共に、関係団体等とのリンクを貼ることにより、様々な情報を結びつけ、幅広い情報コンテンツへのアクセス性向上を図る。
- ◆ 環瀬戸内海地域交流促進協議会オフィシャルロゴを作成し、情報発信時に統一ロゴを使用することで、一目で環瀬戸内海地域交流促進協議会からの発信する情報であることを認識させる。また、DMO等の団体との連携した取り組みにロゴマークを使用することで、協議会と連携した取組であることを伝えるためのツールとして活用する。
- ◆ 情報コンテンツやリンク先の情報をきっかけに現地を訪問されたお客様が、地域で感じた魅力、感動についてSNS等を活用して情報発信し、更なる誘客が生まれるような効果を期待。

### ■ 情報コンテンツの充実

[環瀬戸内海地域交流促進協議会ホームページ]



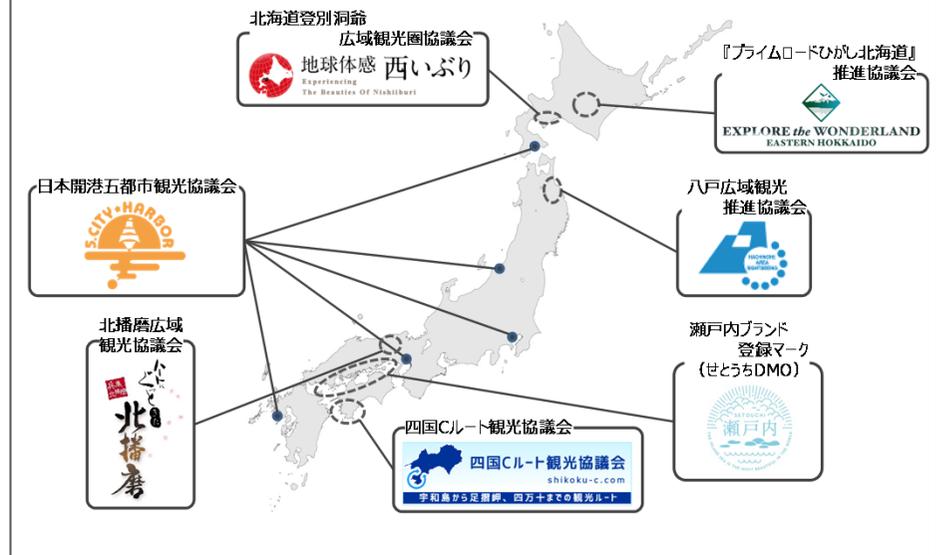
連携  
(リンク・素材提供)

関係団体等のホームページ



### ■ 協議会のオフィシャルロゴ

[オフィシャルロゴの事例]



### ロゴの活用方法

- ・ 広報用チラシ、パンフレット、名刺への掲載
- ・ ホームページへの掲載
- ・ 新聞などの広告、記者発表資料への掲載

など

## 取組の概要

- ◆四国地方整備局では、四国らしさの感じられる素晴らしい景観を選定する「四国八十八景プロジェクト」を推進。
- ◆四国八十八景に選定された地域について、他地域へのプロモーションにより交流を促進。
- ◆現地を訪問されたお客様が、地域で感じた魅力、感動についてSNS等を活用して情報発信し、更なる誘客が生まれるような効果を期待。

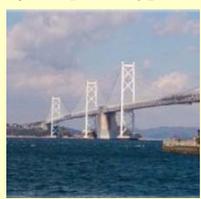
## 四国八十八景プロジェクト

### 【目的】

四国らしさの感じられる素晴らしい景観を、「四国八十八景」として選定し、東京オリンピック・パラリンピックに向けてプロモートを実施し、四国来訪者の増加と地域活性化の実現を図ることを目的としています。

### 【選定イメージ】

すばらしい眺め

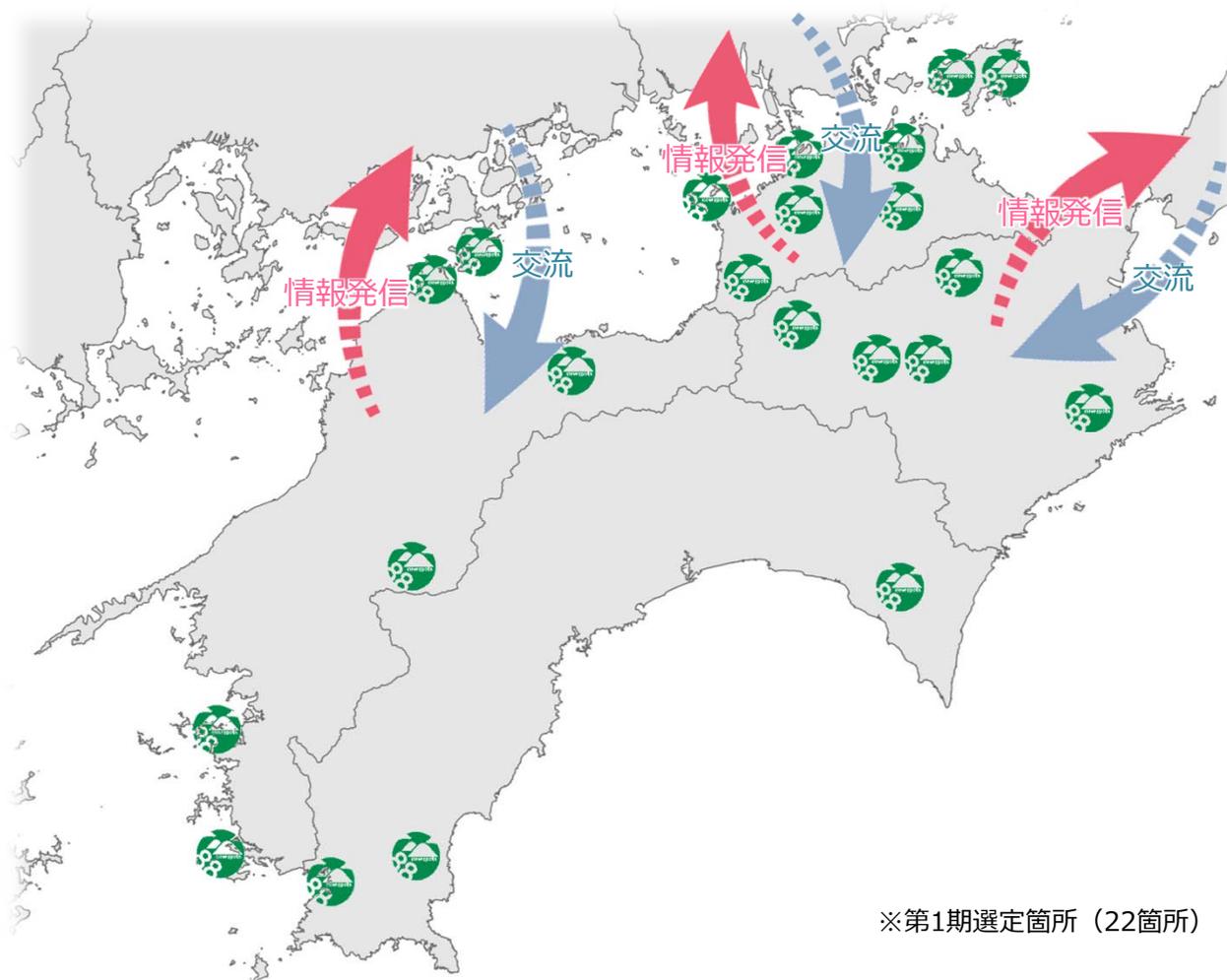


眺める場所



+

四国八十八景



※第1期選定箇所（22箇所）

取組の概要

- ◆美しい風景などの地域の魅力発信と併せて、平成26年4月から適用されている新たな料金をわかりやすくお伝えする広告を展開
- ◆広告作成、広報媒体については、関係各県との連携し、広報誌の活用等により、掲載・配布先の拡大を検討

現在の広告の例

17

**地域の魅力を充実!**

**掲載・配布を拡大!**

**E28 神戸淡路鳴門自動車道**  
[普通車/片道]

神戸西IC→鳴門IC[全線]	
ETC車料金(平日)	3,280円
ETC車料金(休日割引適用後)	2,620円
現金車(非ETC車)料金	5,610円

**垂水IC→淡路IC[明石海峡大橋]**

ETC車料金(平日)	900円
ETC車料金(休日割引適用後)	900円
現金車(非ETC車)料金	2,370円

**淡路島南IC→瀬門北IC[大瀬門橋]**

ETC車料金(平日)	680円
ETC車料金(休日割引適用後)	570円
現金車(非ETC車)料金	1,180円

**E30 瀬戸中央自動車道**  
[普通車/片道]

早島IC→坂出IC[全線]	
ETC車料金(平日)	2,270円
ETC車料金(休日割引適用後)	1,950円
現金車(非ETC車)料金	4,220円

**児島IC→坂出北IC[瀬戸大橋]**

ETC車料金(平日)	1,700円
ETC車料金(休日割引適用後)	1,650円
現金車(非ETC車)料金	3,600円

そうなんです。橋を渡れば、すぐ!

案外近い? 四国って

通行料金・ETC割引の詳細については  
JB本四で検索 / <http://www.jb-honshi.co.jp>

TEL 079-291-1033 営業時間: 9:00~17:30

本四高速 本州四国連絡高速道路株式会社 Honshu-Shikoku Bridge Expressway Company Limited

料金も「見やすく」「わかりやすく」